

＜児童対象アンケートの結果からの考察＞

◎ 成果

- ・ (1) (2)の結果から、授業改善への取組（教材研究・学習形態の工夫など）の成果が現れてきている。全国学力・学習状況調査や県の学力定着状況確認問題の結果からも学力向上の成果がみられる。
- ・ (4) (5) (6)の結果や落ち着いた学校生活の現状からも、今年度の重点目標のひとつである「一人ひとりの思いや願いを認め合い、高め合う集団づくりを推進し、豊かな人間関係を育む心の教育と特別支援教育の充実を図る」の達成に向けて、縦割り掃除や児童会の縦割り班活動の取組などの成果が現れている。
- ・ (7)の結果から、あいさつについての意識が高まっており、校内の様子を見てもあいさつをする児童が増えてきている。あいさつ週間の設定や生活安全委員会の主体的なあいさつ運動への取組などの成果が現れている。
- ・ (9)の結果から、子どもたちが「だいすき掃除」を意識しながら縦割り班の掃除に熱心に取り組んでいる成果が現れている。
- ・ (10)の結果については、スクールガードの方をはじめ地域の方、保護者の方のご協力により児童が安心・安全に登下校できている。
- ・ (11) (12) (13)の結果から、教職員の日々の声かけや、相談等に迅速に対応している成果が現れている。

● 課題と今後の取組

- ・ (1)の結果から、取組の成果が現れてきてはいるものの否定的な意見をもっている児童もいる。さらに授業改善を進め、ペア学習やグループ学習を積極的に授業に取り入れ、全ての児童が主体的に授業に参加し、児童同士がお互いに関わり合いながら、主体的・対話的で深い学びができるよう取り組んでいく。
- ・ (3)の結果から、半数以上の児童が宿題や自主学習に取り組んでいる反面、全くやらない児童も一定数いる現状がある。家庭学習をする意味や学習習慣を身につけることの大切さを粘り強く指導していく。
- ・ (14)の結果から、地域の行事や活動への参加が課題である。地域の行事や活動の具体例（くすのき花火フェスティバル、敬老のつどい、デルタミネ、とんど祭り、灯明づくり、自治会の奉仕作業、その他地域の祭りや催しなど）を児童に知らせたり、参加した児童の感想や様子を紹介したりして学校からも積極的に参加を勧めていく。また、保護者にも文書やメールで地域行事の紹介や参加への協力依頼をするなど啓発していく。

<保護者対象アンケートの結果からの考察>

◎ 成果

- ・ (1) (2)の結果から、今後も授業参観や学校公開、研究授業等を通じて授業を積極的に公開していく。また、授業改善に向けて授業参観者による授業評価アンケートの活用や学校運営協議会委員が参加するユニット型研修の充実に取り組んでいく。
- ・ (4) (7) (8)の結果から、子どもたちのあたたかな人間関係の構築と豊かな人間性の育成に向けて、今後もあいさつ運動や履き物そろえ、だいすき掃除等、児童の主体的な取組を推進していく。
- ・ (9) (11)の結果から、今後も保護者やスクールガード、地域の方と連携・協力しながら児童の安心・安全な登下校をはじめとする安全管理・指導に取り組んでいく。
- ・ (12)の結果から、今後も積極的な情報発信に努めるとともに、その内容についても充実させていく。

● 課題と今後の取組

- ・ (3)の結果から、保護者が期待する家庭学習の習慣を身に付けることが課題である。今後も宿題の出し方を検討したり、家庭学習への取り組み方を指導するとともに、各家庭に対しても「川下小学習の手引き」の活用や協力について引き続きお願いしていく。
- ・ (5)の結果で「わからない」と回答された保護者が多いことから、道徳教育やいじめ根絶に向けた取組などを各種便りやホームページなどで周知していく。
- ・ (10)の結果から、地域の行事や活動に参加することが課題である。まずは、地域の行事や活動（祭りやイベント、清掃活動等）を児童に知らせ、見学や参加をするよう、学校からも積極的に勧めていく。また、家庭とも連携をとりながら、できるだけたくさんの親子に地域の行事や活動に参加してもらうように情報発信していく。
- ・ (13)の結果から、学校行事や育友会行事への保護者の参加が課題である。積極的に参加していただく家庭を増やすために、学校だよりや懇談等で現状をお知らせし、学校行事や育友会行事（参観日・学校公開、運動会、引き渡し訓練、音楽会、親子料理教室、給食試食会、学校保健安全委員会、地域マップづくり、地域クリーン作戦、通学路清掃、育友会総会、育友会奉仕作業、保護者交流会・親睦球技大会、教育講演会、プール当番、ミニ研修会、研修旅行、救急蘇生法、運動会前日準備、育友会総合委員会、ベルマーク運動、育友会新聞（トライアングル）、子ども会連絡協議会など）への参加案内を文書だけでなく、メールやホームページなどでも発信していく。

＜地域の方対象アンケートの結果からの考察＞

◎ 成果

- ・ (4) (5)の結果から、学校に協力しようと思っておられる地域の方が多く、「コミュニティ・スクール」や「あったかネット」などの地域とともにある学校づくりに理解をいただき、取組の成果が現れている。今後も登下校の児童の安全、環境整備、行事等、地域の方のご協力をいただきながら地域とともにある学校づくりをめざしていく。
- ・ (6)の結果から、地域の方が学校の様子や活動に高い関心を寄せておられることがうかがえる。今後も積極的に情報発信していき、地域に開かれた学校づくりを進めていく。

● 課題と今後の取組

- ・ (1)の結果から、あいさつについて児童、保護者の結果と比べて認識の違いがみられる。地域の方にも「進んで」「明るく」「元気に」「大きな声で」あいさつできるよう指導していくとともに、家庭でもあいさつの指導について協力していただく。
- ・ (2)の結果から、大部分の児童は登下校中に交通安全に気をつけているが、一部守られていない児童がいる。各クラスや学年、全校で安全な登下校についてKYT（危険を予知できる学習）を利用したり、具体的な危険場所を示して指導したりしていく。
- ・ (3)の結果から、児童アンケートや保護者アンケートと同様、地域の行事や活動への参加が課題である。地域の方からの願いも込められているように感じられる。地域の行事や活動を児童に知らせ、見学や参加をするよう、学校からも積極的に勧めていく。また、地域や家庭と連携をとりながら、できるだけたくさんの児童や親子が友達同士や親子一緒に地域の行事や活動に参加してもらうように情報発信していく。